

平成 23 年度（第 1 回）高岡市男女平等推進市民委員会

会議録（要旨）

○ 日 時	平成 23 年 5 月 26 日（木） 14：30 ～ 16：00
○ 場 所	高岡市役所本庁舎 3 階庁議室
○ 出席者	・ 委 員 14 人（大石会長、米澤副会長、青木委員、北野委員、小間委員、小松委員、坂田委員、下村委員、高野委員、長堀委員、瀧木委員、向委員、室谷委員、六瀬委員） ・ 高岡市 8 人（高橋市長、新井経営企画部長、岡田経営企画部次長、澤田男女平等・共同参画課長、太田男女平等推進センター所長、大野副主幹、高井主査、徳市主査） ・ 傍聴者 0 人
○ 内 容	1 開 会 2 市長挨拶 ●市 長 ・ 本年度は、平成 19 年度に策定した高岡市男女平等推進プランについて、これまでの推進状況や、今日的な社会情勢の変化等をふまえ、重点的に取り組むべき具体的な施策を明らかにするため、後期事業計画の策定にとりくむこととしている。 ・ また、平成 19 年の DV 法改正に伴い、市町村における DV 対策基本計画の策定が努力義務とされたこと、関係機関の連携や支援体制の強化などを総合的に展開していくことが求められており、新たに DV 対策基本計画の策定に取り組みたいと考えている。 ・ ついては市民委員会に諮問いたしますので、これらの計画について練り上げて頂きたいとお願い申し上げる。皆様方には、日頃の活動で感じておられることを、十分出していただき、計画の検討にあたっていただければ、大変ありがたいと思う。 3 会長挨拶 ◎会 長 ・ 高岡市においても、男女平等・共同参画社会の実現に向けて、行政や、市民・事業者の皆様と一体となって取り組む行動計画として策定された「高岡市男女平等推進プラン」を今後とも着実に進めていかなければならないと考えている。 ・ 市長より諮問があった後期事業計画及び DV 対策基本計画の策定に向け、皆様方には、活発な議論が行われますようお願いしたい。 4 高岡市男女平等推進プラン前期事業計画（H19～H23）平成 22 年度における取組状況について ●事務局 — 資料 1、2 により説明 — 5 高岡市男女平等推進プラン後期事業計画及び DV 対策基本計画（仮称）の策定について ●事務局 — 資料 3 により説明 —

6 起草委員選任

- ・ 大石会長の指名により選任。
- ・ 後期事業計画部会には小間委員、小松委員、西海委員、瀧木委員、室谷委員、DV 計画部会には、米澤副会長、青木委員、澤委員、下村委員、向委員

7 意見交換

○委員

- ・ 資料 2、重点課題 4、指標 No.7「心の教室相談員の人数」に関して、「各種スクールカウンセラー等が配置されている」とあるが、その利用件数を知りたい。
- ・ 資料 2、重点課題 9※参考値「配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）」に関して、相談者数を知りたい。
- ・ DV の相談にこられた方の問題は解決したのか。

●事務局

- ・ 「心の教室相談」の利用件数については、手元に資料がないため、確認して返答する。（スクールカウンセラーの利用件数は、平成 22 年 4 月から 12 月までの期間で 1,319 件である。）
- ・ 平成 22 年度においては、DV 相談件数は延 1,157 件、相談者数は 348 人である。
- ・ 何をもって解決というのかは、なかなか難しい。
- ・ DV の措置は、ケースバイケースである。
- ・ 女性相談センターにつないで保護するなど、ケースによって様々な支援を行っている。

○委員

- ・ 相談の延べ件数は、DV 被害の相談者の中には男性はいるのか。男女比は。
- ・ 男女平等推進センターの相談員に男性はいるのか。

●事務局

- ・ 平成 22 年度において延べ 2,888 件の相談があった。そのうち、DV の相談が 1,157 件で約 40 パーセントを占めている。
- ・ その他、生き方や夫婦の問題などについての相談が多い。
- ・ DV 相談は全体の 98 パーセントが女性からの相談で、残りが男性からの相談である。
- ・ 当センターの専任の相談員は女性 2 名である。

○委員

- ・ DV 対策基本計画の策定は、E ネットが要望してきたことであり、嬉しく思っている。
- ・ DV 被害者・関係団体から意見を聴くことは、とても重要であると思っている。
- ・ 資料 2、重点課題 4、指標 No.8「育児に自信がもてなくなることがあると感じる母親の割合」が増えているが、保健師の人数を増やすことを検討されたい。

○委員

- ・ 資料 1、基本目標 1、施策の方向(1)に関して、農業委員会など、各種委員会における女性委員の比率は、ここ数年増加のきざしが見えてこない。
- ・ クォータ制の導入など、意識して女性の参画を増やすことを検討してほしい。
- ・ 成人式のパンフレットでの「ご父兄席」の表現を、とても残念に思っている。
- ・ 資料 1、重点課題 3、具体的施策 17 に「高岡女性の会連絡会」への支援が記載されているが、平成 20 年に同会が解散していることから、表現を改めていただきたい。

●事務局

- ・ 市内各界各層の団体からの推薦や選挙により、委員を選任している委員会もあるなど、様々な要因により、女性委員比率を上げることができず、とても苦慮している。
- ・ パンフレット等の表現については、常に配慮していきたい。
- ・ プラン施策の表現については、後期事業計画策定の中で見直していきたい。

○委員

- ・ 農業委員をしているが、男性の農業委員のパワーを見ると、私達がもっと学ぶ必要があると感じる。
- ・ 地域の選挙で女性が選出されることは実際、なかなか難しい。女性の市議会推薦枠を増やしてほしい。

◎会長

- ・ 先日、市の PTA 連絡協議会で、長堀委員が会長に就任した。
- ・ 大変、頼もしく思っており、何か一言いただきたい。

○委員

- ・ PTA は、常にみんなで支えあって活動しており、女性も活動しやすく、周囲の温かい協力のおかげで、この場に立たせて頂いている。
- ・ 男性の意識は、男女共同参画を進める上で、とても大切だと思う。

○委員

- ・ 妻から暴力を受けているという相談され、相談機関に相談するように勧めたところである。
- ・ 様々なケースがあると思うが、どこへ相談に行くのがいいのか。

●事務局

- ・ 市内では当センターへの相談件数が最も多い。
- ・ 暴力が激しい場合など、直接、警察へ相談される場合もある。
- ・ 相談内容からどのような状況なのかを見極めながら、対処方法を考えている。DV の相談を受けた時は、当センターのことを紹介してほしい。

◎会長

- ・ 男女平等推進センターへの相談には、当事者以外の第三者からの相談もあるのか。

●事務局

- ・ 関係機関から当センターへ回ってくることもある。

◎会長

- ・ 若い人（学生）と関わりをもつことが多いが、「かわいい」ということが、若い人たちの間でかなり重要視されている。それは、ともすると DV につながりかねない危険因子であり、メディアによって助長されている面もあるのではないか。
- ・ 高岡市内の中・高校生へ、デート DV に関してどのように啓発しているのか。

●事務局

- ・ 昨年度は、デート DV について、当センターで予防啓発のためのチャリティイベントや高校（1校×2回）への出前講座を実施したところである。
- ・ 毎年、市内の高校1年生を対象に、予防啓発のパンフレットを配布している。
- ・ 他に県の事業であるが、中・高校への出前講座も実施されており、少しずつ教育現場で意識も広まってきている。

◎会 長

- ・ 今時の中・高校生にはチラシよりも、ビデオ・DVD等の視聴覚教材を啓発活動に使用してはどうかと思う。

○委 員

- ・ DVや麻薬の危険性について、資料の配布や講習会があっても、自分の身に起こるかもしれないと危機感を持っている人は少ない。
- ・ DVについては、両親のDVを見て育った子どもは、同じようにDVを起こしやすい。
- ・ カウンセリング指導員には教員が、子どもと親の相談員には退職した教員になることが多い。
- ・ 特別支援教室や情緒障害をもった生徒がいる教室が増えている。しかし、担任の教員は人権的な問題から介入が難しい。専門的な知識を持っているスクールカウンセラー（臨床心理士や精神科医など）は、生徒だけでなく、教員、そして、生徒の保護者と関係機関とを繋げるアドバイスもできる。

◎副会長

- ・ 親自身が過去に虐待を受けており、同様に自分の子どもに虐待をしてしまうケースが多い。虐待は表面的なこと以外に根深い部分があるが、それを見つけることは難しい。
- ・ 虐待にはネグレクト等、いろいろな種類があるが、見えない部分も含め、心のケアをしていく必要がある。
- ・ 児童虐待も、高齢者虐待も増えていると思われるが、被害者は周囲に打ち明けにくい。そのため、周囲の人間が気づいてあげることが重要だと考える。

○委 員

- ・ 民間企業の男女共同参画推進の取り組みを紹介することも必要と考える。たとえば県の「女性が輝く元気企業とやま賞」を受賞した高岡信用金庫や、北陸電力のような企業では意識が高い。

○委 員

- ・ 自分も親になり、男女共同参画社会に、より一層興味を持つようになった。
- ・ 数字で現状を把握することはとても大事なことだと思う。
- ・ 高岡市の状況が、全国的にみて良いのか悪いのか、他の自治体の比較も出してほしい。

●事務局

- ・ 資料に関しては、企業の取り組みや統計的なことも大切であり、多方の視点から作成していきたい。

8 会議のまとめ

◎会 長

- ・ 市当局においては、本日各委員から出された意見・提案等も踏まえ、今後、各種施策の推進に努めていただくように要望する。また、各委員には、今後とも、それぞれの立場でプランの推進に尽力するようお願いする。次回の市民委員会は、11月頃の開催予定である。

●部 長

- ・ 後期事業計画及びDV対策基本計画の策定についての、諮問書を配布してある。
- ・ これで本日の高岡市男女平等推進委員会を終了とする。

〔以 上〕